

令和5年度 信学会昭和幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

はだしてジャンプ みんなのびのび アリンコ隊  
～あーいいな愛の幼稚園～

2. 本年度の重点目標

<3つの重点> ①心も身体も元気いっぱい ②たのしい音楽遊び ③やさしい心と仲間づくり

<具現するために大切にしたいこと>

- ・裸足で元気に遊ぶ ・いっぱい歌う活動 ・笑顔のあいさつを広げる ・主体性が育つ活動を大切にする
- ・優しく行動できるようにする ・ルールやマナーを守り仲良く遊べること ・基本的な生活習慣を育てる

3. 自己評価

- A…十分達成されている B…達成されている  
C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

1. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- (1) 先生方が子ども一人ひとりを丁寧に温かく見守っている。笑顔で接し、園の雰囲気が良い。
- (2) 持ち帰ってくる廃材遊びの制作物や興味を持って絵本を見る様子から、主体性が感じられ楽しさが伝わる。
- (3) 専科の習い事ができ、子どもは楽しそう。音楽、英語、体育が好きになった。指導内容の報告がほしい。
- (4) コロナ、インフルエンザの事を考えながら、園外保育や季節ごとの行事など大切にしている。
- (5) 引き続き子どもたちの安心安全が確保できるように、丁寧な運営管理を大事にしてほしい。

2. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 全般に園への信頼があり評価は高かった。更に温かい雰囲気を大切にしたい。その為に、お互いの関係づくりに努める。それには、やはり保育者の指導力を高めることである。1人1授業公開や園内研修の充実を図ると共に、気軽に保育について語り相談し合う機会を大事にしたい。
- (2) 家庭との連携を大切に、子どもの成長をラーニングストーリー、学級・学年だより、園長だより等で発信。
- (3) 歌声が輝く園にしたい。その為に、音楽集会やお部屋での音楽活動の充実を図ると共に、「園長先生と歌って遊ぼう」の企画を年3回実施予定。5月、7月、12月。
- (4) 「人が育つあーいいな愛の園」として子どもの心根を大事にする。素晴らしさをいっぱい共有する。
- (5) 少子化の中であるが、更に園公開など魅力ある企画を工夫し、園児募集の充実を図る。等